

## 『住宅購入・建築検討者』調査（2021年12月） 「コロナ禍拡大は住まい探しに影響しない」という検討者が コロナ禍拡大当初（2020年5月調査）より増加

株式会社リクルート(本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村吉弘)の住まい領域の調査・研究機関であるSUUMOリサーチセンターは、このたび「『住宅購入・建築検討者』調査」を行いました。この調査は、住宅の購入・建築を検討している人を対象に、検討する物件の種別、検討に当たって重視する条件などを把握することを目的とした調査です。今回は、2021年12月の調査結果から、新型コロナウイルス感染症の住まい探しへの影響を見た結果を、先行してご報告申し上げます。

### ■ コロナ禍拡大による住まい探しや暮らしへの影響

- 新型コロナウイルス感染症拡大が、住まい探しに影響を及ぼしたか尋ねたところ、2021年7月～12月の検討者の約半数が「影響はない」と回答。コロナ禍拡大が始まった当初（2020年4月～5月下旬検討者）と比べると、「影響はない」割合（36%→47%）は11ポイント上昇した（→P3）
- 暮らしへの影響があったとする割合は、過去調査よりも全体的に減少している。（→P4）
- 首都圏・2021年7月～12月検討者のテレワーク実施割合をみると、実施者の割合は6割程度で変化はないが、「90%以上」をテレワークで就業する人は最大時（28%）から16ポイント減少している（→P5）

### ■ コロナ禍拡大による住まい探しのきっかけや求める条件の変化

- コロナ禍拡大期（2020年5月～12月）と比べると、「在宅勤務になった/増えた」をきっかけに検討を始める割合は全体では減少したが、エリア別に見ると、首都圏では「在宅勤務になった/増えた」がきっかけとして最も多く挙げられている。（→P6）
- コロナ禍拡大当初と比べると、仕事専用スペースなどを求める割合は全体では減少したが、エリア別に見ると、首都圏では仕事専用スペース、通信環境を求める割合が、他エリアより高い。（→P7）

### ■ コロナ禍拡大で契約時期は早まったか

- 住宅の契約時期が当初の想定と「変わらない」割合が76%を占める。一方、早まった人の割合は20%だが、その理由はコロナ禍拡大に限らず、多様である。（→P8）

### ■ GOTOキャンペーンや消費活動と、住宅検討の優先度比較

- GOTOキャンペーンや各消費活動のどちらを優先するか尋ねたところ、いずれの場合も「住宅の検討には影響しない」が4割前後を占めて最も多い。家族、親族、友人と会うことやショッピングについては、他の消費活動より、住宅検討にやや影響が見られる。（→P9）

## 調査概要

- **調査目的** 住宅の購入・建築、リフォーム検討意向者の意識と行動を把握する
- **調査対象** 2021年12月調査は、下記条件を満たすマクロミルモニターの20歳～69歳の男女を対象に調査を実施した  
【スクリーニング調査】  
20歳～69歳の男女  
【本調査】  
過去1年以内に住宅の購入・建築、リフォームについて「具体的に物件を検索した。もしくは建築・リフォーム会社の情報収集をした、している」「資料請求をした」「モデルルームや住宅展示場、モデルハウスを見学した」「不動産会社、建築、リフォーム会社を訪問した」「購入する物件や、建築・リフォームの依頼先と契約した」のいずれかの行動をしており、検討に関与している  
【本調査集計対象】  
・首都圏(東京都/千葉県/埼玉県/神奈川県)・東海(愛知県/岐阜県/三重県)・  
関西(大阪府/京都府/奈良県/兵庫県/和歌山県/滋賀県)・札幌市・仙台市・広島市・福岡市在住の20歳～69歳の男女  
・2021年7月から2021年12月下旬までの期間に、行動をしている方（2021年6月以前に検討を終了した方を除外）
- **調査方法** インターネットによるアンケート調査
- **調査時期・回答数**  
スクリーニング調査 2021年12月18日（土）～12月28日（火） 有効回答数：59,600  
本調査 2021年12月18日（土）～12月28日（火） 有効回答数：2,655（集計対象：1,150サンプル）

- **調査機関** 株式会社マクロミル

- **ウエイトバック集計について**

### ＜ウエイトバック集計の目的＞

本調査の回収サンプルの偏りを、実際の住宅購入検討者の年代及び地域別出現率に合わせることを目的とし、ウエイトバック集計を行った。

### ＜ウエイトバック値算出のためのデータソース＞

- 1.住宅購入検討者調査のスクリーニング調査の結果
- 2.国勢調査の結果(令和2年度国勢調査を使用)

### ＜本調査実サンプル数とウエイトバック後サンプル数＞

	首都圏					東海					関西					札幌市	仙台市	広島市	福岡市	総計
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代					
実サンプル数	32	36	31	37	41	26	35	35	31	37	30	34	40	29	41	168	157	149	161	1,150
WB後サンプル数(万人)	36.1	44.3	27.8	20.3	14.4	8.9	11.6	6.9	3.0	3.1	15.5	20.9	19.3	8.7	5.6	6.4	4.5	4.8	6.7	268.7

- **過去調査の実施時期と対象者について**

#### ・2021年1～6月中旬検討者

調査時期：2021年6月11日（金）～6月21日（月）

調査対象者：2021年6月の調査時点で、過去1年以内に住宅購入・建築検討について具体的な行動をし、検討に関与している方

集計対象：2021年1月から6月中旬までの期間に、行動をしている方 WB後サンプル数(万):324.0（実サンプル数:1,291）

#### ・2020年9～12月下旬検討者

調査時期：2020年12月11日（金）～12月21日（月）

調査対象者：2020年12月の調査時点で、過去1年以内に住宅購入・建築検討について具体的な行動をし、検討に関与している方

集計対象：2020年9月から12月下旬までの期間に、行動をしている方 WB後サンプル数(万):274.2（実サンプル数:1,014）

#### ・2020年5月緊急事態宣言解除後～9月中旬検討者 ※マクロミルモニター以外での調査

調査時期：2020年8月24日（月）～9月11日（金）

調査対象者：1回目の緊急事態宣言解除後から2020年9月中旬までの期間に、

住宅購入・建築検討について具体的な行動をし、検討に関与している方 WB後サンプル数(万):261.5（実サンプル数:975）

#### ・2020年4月緊急事態宣言～5月下旬検討者 ※マクロミルモニター以外での調査

調査時期：2020年5月17日（日）～5月21日（木）

調査対象者：2020年4月7日（1回目の緊急事態宣言発令）から2020年5月下旬までの期間に、

住宅購入・建築検討について具体的な行動をし、検討に関与している方 WB後サンプル数(万):112.8（実サンプル数:1,307）

# 1. コロナ禍拡大の住まい探しへの影響

- 新型コロナウイルス感染症拡大が、住まい探しに影響を及ぼしたか尋ねたところ、2021年7月～12月の検討者の約半数が「影響はない」と回答。コロナ拡大が始まった当初（2020年4月～5月下旬検討者）と比べると、「影響はない」割合は11ポイント上昇しており、コロナ禍による住まい探しへの影響は小さくなっている様子がうかがえる。

## ■ コロナ禍拡大の住まい探しへの影響（全体/複数回答）

- 2021年7月～12月下旬検討者：WB後サンプル数(万):268.7（実サンプル数:1,150）
- 2021年1月～6月中旬検討者：WB後サンプル数(万):324.0（実サンプル数:1,291）
- 2020年9月～12月下旬検討者：WB後サンプル数(万):274.2（実サンプル数:1,014）
- 2020年5月緊急事態宣言解除後～9月中旬検討者：WB後サンプル数(万):261.5（実サンプル数:975）
- 2020年4月緊急事態宣言～5月下旬検討者：WB後サンプル数(万):112.8（実サンプル数:1,307）

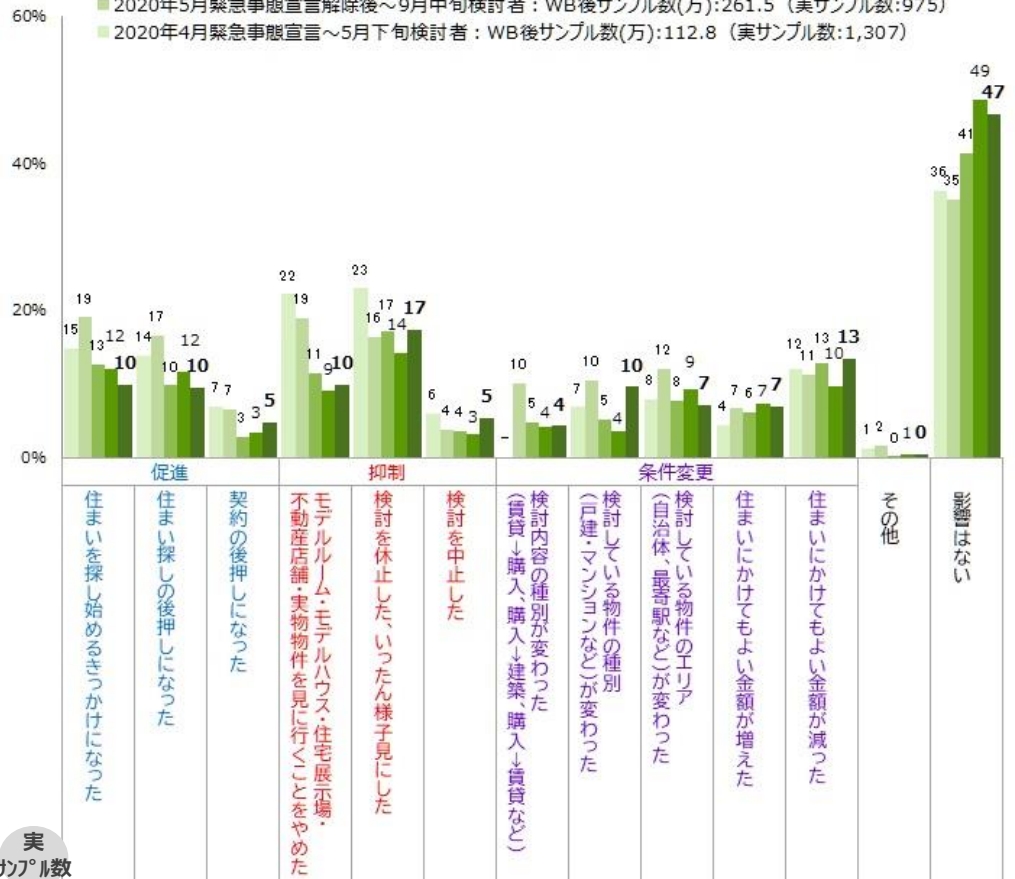
※「2021年7月～12月下旬検討者」  
→2021年12月調査のスコア

「2021年1月～6月中旬検討者」  
→2021年6月調査のスコア

「2020年9月～12月下旬検討者」  
→2020年12月調査のスコア

「2020年5月～9月中旬検討者」  
→2020年9月調査のスコア

「2020年4月～5月下旬検討者」  
→2020年5月調査のスコア



	WB後 サンプル数	実 サンプル数	影響											
			促進	抑制	条件変更	その他	影響はない							
2021年7月～12月下旬検討者	2,687,452	1,150	10	17	7	13	47							
2021年1月～6月中旬検討者	3,240,056	1,291	12	14	9	10	49							
2020年9月～12月下旬検討者	2,741,908	1,014	13	17	6	13	41							
2020年5月緊急事態宣言解除後～9月中旬検討者	2,614,834	975	19	16	7	11	35							
2020年4月緊急事態宣言～5月下旬検討者	1,127,543	1,307	15	23	8	12	36							
首都圏 (1都3県)	1,428,665	177	10	20	8	14	40							
東海	334,934	164	5	18	2	17	59							
関西	699,272	174	12	13	6	11	53							
札幌市	64,124	168	13	15	6	10	47							
仙台市	45,469	157	11	15	6	14	48							
広島市	48,296	149	7	22	3	11	54							
福岡市	66,692	161	7	14	6	10	51							

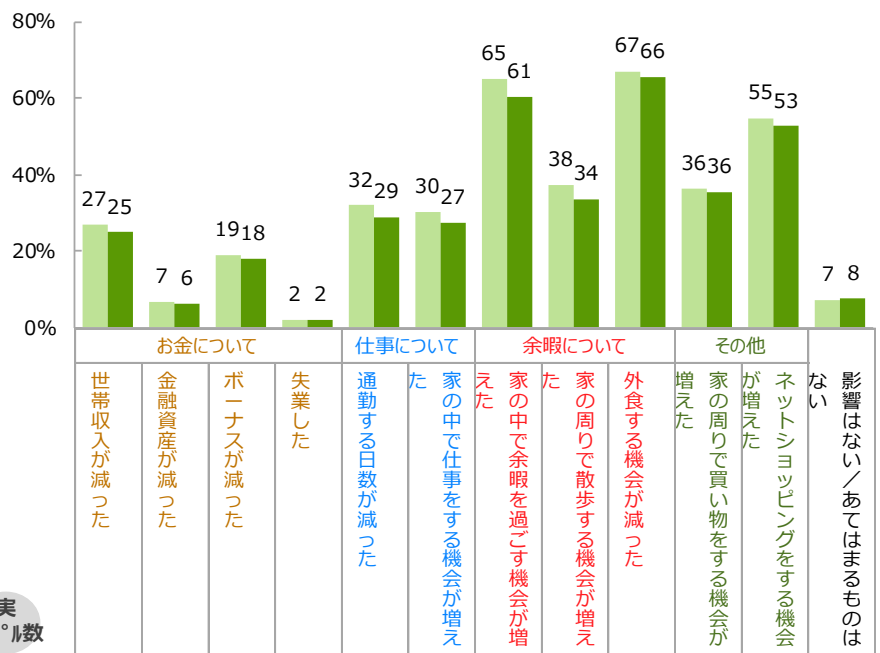
## 2.コロナ禍拡大による暮らしの変化

- 新型コロナウイルス感染症拡大が、暮らし全般に及ぼした影響を尋ねたところ、影響があったとする割合は全体的に減少している。中でも、仕事（通勤する日数が減った、家の中で仕事をする機会が増えた）、余暇（家の中で余暇を過ごす機会が増えた、家の周りで散歩する機会が増えた）への影響が特に減少しており、前回より行動範囲がやや広がった様子がうかがえる。

### ■ コロナ禍拡大による暮らしの変化（全体/複数回答）

※「2021年1月～6月中旬検討者」は2021年6月調査のスコア、「2021年7月～12月下旬検討者」は2021年12月調査のスコア

■ 2021年1月～6月中旬検討者 (WB前n=1,291 / WB後n=3,240,056)  
 ■ 2021年7月～12月下旬検討者 (WB前n=1,150 / WB後n=2,687,452)



年代別	世帯収入別	世帯収入	サンプル数	影響を受けた割合 (%)												
				世帯収入が減った	金融資産が減った	ボーナスが減った	失業した	通勤する日数が減った	家の中で仕事をする機会が増えた	家の中で余暇を過ごす機会が増えた	家の周りで散歩する機会が増えた	外食する機会が減った	家の周りで買い物をする機会が増えた	ネットショッピングをする機会が増えた	影響はない/あてはまるものはない	
エリア別	首都圏	1,428,665	177	24	7	18	2	37	36	65	38	68	39	56	6	
	東海	334,934	164	27	7	21	3	14	13	53	24	65	27	41	10	
	関西	699,272	174	26	5	17	2	21	18	55	33	60	34	51	9	
	札幌市	64,124	168	28	6	21	2	28	18	65	23	68	35	57	6	
	仙台市	45,469	157	26	7	22	2	20	17	58	28	63	28	55	8	
	広島市	48,296	149	27	6	20	3	18	18	62	27	70	34	57	5	
	福岡市	66,692	161	25	7	20	1	26	24	53	26	68	25	53	8	
年代別	20代	670,783	241	28	4	21	6	23	17	63	29	60	32	49	7	
	30代	840,683	249	17	5	18	1	24	22	68	33	71	39	56	8	
	40代	582,179	242	24	4	18	0	38	37	54	37	66	36	57	9	
	50代	344,585	221	38	11	17	1	35	39	62	41	71	36	53	5	
	60代	249,222	197	28	14	13	3	32	35	42	30	57	31	41	9	
世帯収入別	200万円未満	46,700	23	56	27	28	5	38	40	83	53	88	45	46	2	
	200万円～400万円未満	204,649	118	33	8	15	0	21	23	61	30	64	39	54	9	
	400万円～600万円未満	545,444	240	35	7	18	5	26	19	54	29	61	24	50	7	
	600万円～800万円未満	460,533	215	22	6	12	0	17	21	64	31	65	24	46	11	
	800万円～1000万円未満	475,443	175	17	4	22	1	29	28	62	45	69	44	54	5	
	1000万円～1200万円未満	237,590	82	15	2	12	-	50	55	75	40	77	49	77	7	
	1200万円～1500万円未満	208,623	65	23	7	31	-	61	62	61	39	71	44	58	5	
	1500万円～2000万円未満	70,666	23	16	8	36	-	46	37	78	32	56	44	47	13	
	2000万円以上	69,126	29	33	14	10	-	24	29	80	46	41	38	55	8	
わからない	368,679	180	24	5	17	6	17	8	44	20	63	37	45	9		

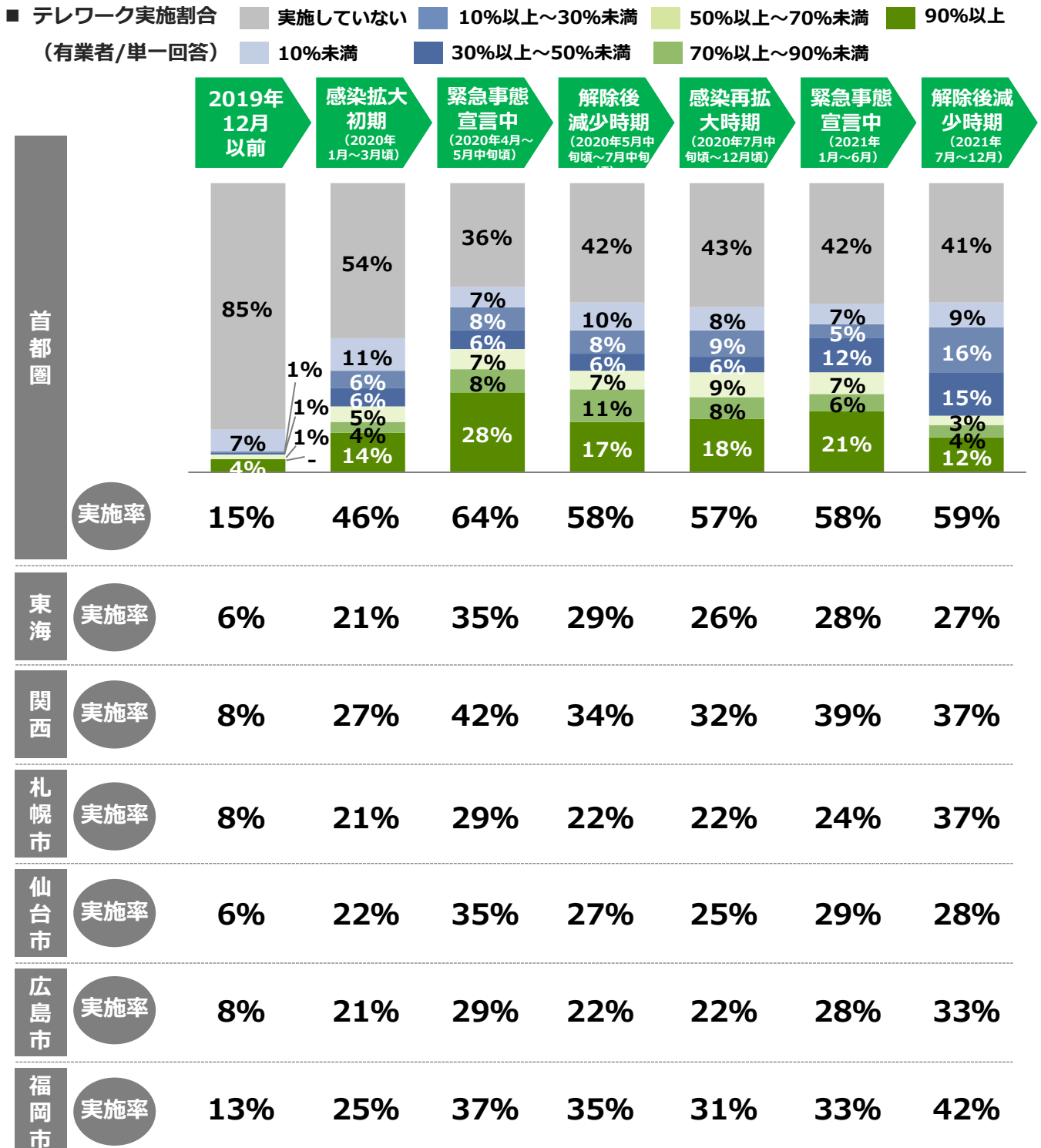
※表中の%は、小数点第一位を四捨五入した値

### 3.テレワーク実施割合

- 首都圏・2021年7月～12月検討者のテレワーク実施率は59%で、前回とほぼ同じだが、実施割合を見ると、前回より「90%以上」が減少（21%→12%）、「10%～30%未満」が増加（5%→16%）と、テレワークで就業する割合は下がっている。東海、関西のテレワーク実施率も前回とほぼ同じ。

※首都圏：WB後サンプル数(万):115.4（実サンプル数:143） 仙台市：WB後サンプル数(万):3.8（実サンプル数:131）  
 東海：WB後サンプル数(万):24.4（実サンプル数:122） 広島市：WB後サンプル数(万):3.5（実サンプル数:112）  
 関西：WB後サンプル数(万):54.1（実サンプル数:130） 福岡市：WB後サンプル数(万):5.1（実サンプル数:128）  
 札幌市：WB後サンプル数(万):4.7（実サンプル数:128）

※「緊急事態宣言中（2021年1月～6月）」までは2021年6月調査のスコア、「解除後減少時期（2021年7月～12月）」は2021年12月調査のスコア  
 ※2021年6月調査では、6つの時期別にテレワーク実施割合を聴取。2021年12月調査では、21年7月～12月のテレワーク実施割合を聴取。



※実施率は実施・計を掲載（100-「実施していない」）

※表中の%は、小数点第一位を四捨五入した値

## 4.住まいの検討のきっかけ

- 住宅の検討のきっかけとして「結婚」「在宅勤務になった/増えた」を挙げる人が多い。全体では、コロナ禍拡大当初と比べて、在宅勤務をきっかけとする割合は低下したが、エリア別に見ると、首都圏では「在宅勤務になった/増えた」を最も多く挙げている。

### ■ 住まいの検討のきっかけ（全体/複数回答）

- ※ 2021年7月～12月下旬検討者（2021年12月調査）：WB後サンプル数(万):268.7（実サンプル数:1,150）
- 2021年1月～6月中旬検討者（2021年6月調査）：WB後サンプル数(万):324.0（実サンプル数:1,291）
- 2020年9月～12月下旬検討者（2020年12月調査）：WB後サンプル数(万):274.2（実サンプル数:1,014）
- 2020年5月緊急事態宣言解除後～9月中旬検討者（2020年9月調査）：WB後サンプル数(万):261.5（実サンプル数:975）
- 2020年4月緊急事態宣言～5月下旬検討者（2020年5月調査）：WB後サンプル数(万):112.8（実サンプル数:1,307）

### 2021年7月～12月下旬検討者

### 2021年7月～12月下旬検討者（エリア別）

2021年7月～12月下旬検討者	2021年7月～12月下旬検討者（エリア別）											
	2021年 1月 ～6月中 旬検討者	2020年 9月～ 12月中 旬検討者	2020年 5月緊急 事態宣言 解除後～ 9月中旬 検討者	2020年 4月緊急 事態宣言 ～5月下 旬検討者	首都圏 (1都3県)	東海	関西	札幌市	仙台市	広島市	福岡市	
結婚	13	17	16	12	16	11	18	13	14	18	11	12
在宅勤務になった/増えた <sup>1</sup>	11	10	14	13	8	16	5	5	6	3	5	6
第一子出生	10	12	8	12	13	9	16	8	14	9	13	10
子どもの小学校入学	6	3	3	7	7	5	4	10	2	6	5	4
賃貸物件の更新・値上げ	6	5	5	8	7	10	4	1	3	5	2	4
第二子以降の出生	5	7	4	7	6	6	3	4	6	5	8	3
子どもの保育園・幼稚園入園	5	5	2	7	5	6	5	4	6	4	3	4
自身/配偶者の転勤	5	6	5	6	12	5	2	5	7	6	4	5
会社の勤務制度が変わった	4	3	*	*	*	6	3	1	3	3	2	2
まとまったお金や資産を手にした (相続・退職金)	4	4	4	6	7	4	4	5	1	3	3	2
自身/配偶者の就職・転職	4	6	5	6	8	3	3	5	5	7	5	7
同棲	3	5	6	3	3	1	5	3	5	10	2	6
子どもの中学校・高校入学	3	2	3	5	5	2	1	5	1	2	2	2
親族との同居	2	2	3	5	4	2	2	2	4	2	5	2
寮や住宅からの退去期限	2	3	1	2	2	1	4	3	3	2	2	1
近隣トラブル	2	4	4	5	※	1	3	3	3	2	6	4
同居する子どもの独立	2	2	3	7	4	2	2	2	1	3	1	0
定年退職(早期退職含む)	2	2	2	5	7	2	2	2	3	2	1	3
配偶者/家族/同居者の介護	1	1	4	3	3	1	1	2	2	2	1	3
配偶者/家族/同居者の死別	1	1	1	3	2	1	1	2	1	1	1	-
借金や減給などの経済的危機 (退職・失業を除く)	1	2	3	2	1	0	2	3	2	0	0	3
離婚	1	1	1	1	1	1	-	1	1	0	1	1
配偶者/家族/同居者の 介護施設への入居	1	1	1	2	1	1	1	0	0	1	-	1
失業	1	0	0	1	0	1	-	1	1	1	1	-
その他	6	7	7	10	1	5	7	5	9	6	8	8
上記に当てはまるものはない・ 特になし	31	25	29	19	22	30	29	32	30	29	26	32

※「2021年7月～12月下旬検討者」のスコアで降順にソート  
※表中の%は、小数点第一位を四捨五入した値

※：2020年5月緊急事態宣言解除後～9月中旬検討者から選択肢に追加した項目  
1：2020年4月緊急事態宣言～5月下旬検討者では「在宅勤務になった」選択肢  
\*：過去非聴取項目

## 5. コロナ禍拡大による住宅に求める条件の変化

- 新型コロナウイルス感染症拡大前と比べて、住宅に求める条件が変わったかを尋ねたところ、「部屋数がほしくなった」「日当たりのよい住宅がほしくなった」が最も多い。コロナ禍拡大当初と比べると、仕事専用スペースを求める割合などが減少した。エリア別に見ると、首都圏では仕事専用スペース、通信環境などを求める割合が、他エリアより高くなっている。

### ■ コロナ禍拡大による住宅に求める条件の変化（全体/複数回答）

- ※ 2021年7月～12月下旬検討者（2021年12月調査）：WB後サンプル数(万):268.7（実サンプル数:1,150）
- 2021年1月～6月中旬検討者（2021年6月調査）：WB後サンプル数(万):324.0（実サンプル数:1,291）
- 2020年9月～12月下旬検討者（2020年12月調査）：WB後サンプル数(万):274.2（実サンプル数:1,014）
- 2020年5月緊急事態宣言解除後～9月中旬検討者（2020年9月調査）：WB後サンプル数(万):261.5（実サンプル数:975）
- 2020年4月緊急事態宣言～5月下旬検討者（2020年5月調査）：WB後サンプル数(万):112.8（実サンプル数:1,307）

### 2021年7月～12月下旬検討者

2021年7月～12月下旬検討者	2021年7月～12月下旬検討者（エリア別）											
	2021年 1月 ～6月中 旬検討者	2020年 9月～ 12月下 旬検討者	2020年 5月緊急 事態宣言 解除後～ 9月中旬 検討者	2020年 4月緊急 事態宣言 ～5月下 旬検討者	首都圏 (1都3県)	東海	関西	札幌市	仙台市	広島市	福岡市	
部屋数がほしくなった	24	25	21	19	19	28	15	22	28	20	26	19
日当たりのよい住宅がほしくなった	24	23	21	21	20	28	19	21	24	19	19	15
広いリビングがほしくなった	23	26	21	19	21	24	15	25	24	17	23	20
遮音性に優れた住宅に住みたくなった	21	19	18	18	20	24	16	18	18	20	10	19
宅配ボックス・置配ボックスを設置したくなった	20	19	17	20	23	21	25	18	17	22	17	16
収納量を増やしたくなった	20	26	17	18	20	21	15	21	27	17	24	18
仕事専用スペースがほしくなった	18	19	14	24	23	23	7	16	17	13	11	14
省エネ性(冷暖房効率)に優れた住宅に住みたくなった <sup>1</sup>	17	20	18	20	17	18	20	15	20	19	17	17
庭がほしくなった	17	21	13	16	16	18	16	15	12	15	21	14
換気性能に優れた住宅に住みたくなった※	17	17	17	23	※	16	14	20	13	14	18	13
通信環境の良い家に住みたくなった	15	13	9	22	※	20	8	10	11	9	11	9
通風に優れた住宅に住みたくなった	14	16	11	21	22	15	11	13	12	15	14	5
インテリアにこだわりたい	13	15	12	11	14	14	6	12	15	9	13	14
玄関近くに洗面所がほしくなった	12	11	7	12	10	12	14	12	9	13	6	10
屋上や広いバルコニーがほしくなった	11	13	12	17	18	13	9	9	7	10	5	12
緑が感じられる住宅がほしくなった	11	13	12	16	15	13	13	7	8	6	10	10
24時間対応のゴミ捨て場がほしくなった	9	10	6	11	12	10	5	9	10	12	5	8
シューズインクローゼットがほしくなった	9	11	6	9	10	7	7	12	12	9	6	11
リビングに間仕切りされたスペースがほしくなった	7	7	7	10	10	10	2	4	6	6	5	1
その他	1	1	1	2	0	1	2	2	1	2	-	2
特になし	24	21	28	22	29	21	34	27	21	27	30	31

※「2021年7月～12月下旬検討者」のスコアで降順にソート  
※表中の%は、小数点第一位を四捨五入した値

※：2020年5月緊急事態宣言解除後～9月中旬検討者から選択肢に追加した項目

1：2020年4月緊急事態宣言～5月下旬検討者では「冷暖房効率に優れた住宅に住みたくなった」選択肢

## 6. コロナ禍拡大による契約時期への影響

- 新型コロナウイルス感染症拡大により、住宅の契約時期が当初の想定と変わったか尋ねたところ、「変わらない」が76%を占める。早まった人の割合は20%であった。早まった割合は、テレワーク実施者で高くなっている。また、自由回答の早まった理由を見ると、在宅勤務、住宅ローン減税改正、ウッドショックなど、理由はさまざまである。

### ■ 当初の想定と比較した住宅の契約時期の変化（契約者/単一回答）

※2021年7月～12月に購入を検討し、契約した人

	WB後 サンプル数	実 サンプル数	契約時期の変化 (%)						早まっ た・計	遅くなっ た・計		
			■ 半年弱早まった	■ 1～2年弱早まった	■ 3年以上早まった	■ 半年弱遅くなった	■ 1～2年弱遅くなった	■ 3年以上遅くなった				
全体	481,945	202	3	4	12	76			20	3		
首都圏	214,255	25	6	24		69			31	0		
東海	63,126	26	7	83			5	5	7	11		
エリア別												
関西	162,183	33	6	3	3	84			13	3		
札幌市	12,567	32	6	8	8	6	62		5	4		
仙台市	11,544	39	5	3	32	75			3	3		
広島市	8,169	26	8	5	5	70			11	2		
福岡市	10,100	21	6	83			6	2	2	6		
有無別												
ワーク テレ 実施 別	実施している	144,094	49	9	6	12	4	63		3	32	5
	実施していない	204,000	102	3	9	84			2	12	4	
メイン 検討 種別												
	注文住宅	206,086	85	3	14	78			18	4		
	新築一戸建て	92,240	32	4	13	6	76		23	1		
	中古一戸建て	53,484	23	10	80			9	11	10		
	新築マンション	59,782	23	9	89			10	0			
	中古マンション	58,827	37	23		6	68		30	2		

※2.0%未満の数値を非表示

※表中の%は、小数点第一位を四捨五入した値

※メイン検討種別集計について

本来なら、成約物件種別で見るとは、無回答数が多く、各カテゴリーのn数が少なくなるため、メイン検討種別で代替している。

### ■ 早まった理由（契約者かつ当初の想定より契約が早まった人/自由回答※一部抜粋）

- ✓ リモートワークがメインになった（男性32歳/福岡市/中古マンション）
- ✓ 在宅勤務に適した間取りが必要になったため（男性39歳/首都圏/中古マンション）
- ✓ 良い土地が見つかったから（女性25歳/首都圏/注文住宅）
- ✓ 住宅ローン減税の改正（女性26歳/首都圏/新築一戸建て）
- ✓ ウッドショックで早く契約しないと建築費が上がると言われた（女性60歳/仙台市/注文住宅）



## 7.GOTOキャンペーンや消費活動と、住宅検討の優先度比較

- GOTOキャンペーンが再開された時や、新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着いている時に、住宅の検討と、GOTOキャンペーンや各消費活動のどちらを優先するか尋ねたところ、いずれの場合も「住宅の検討には影響しない」が4割前後を占め、最も多くなっている。
- 住宅検討より優先する割合が高いのは、「家族・親戚と会う」「友人と会う」「ショッピングに行く」である。GOTOキャンペーンは、どちらも、住宅検討より優先される割合は低い。

### ■ 住宅の検討とどちらを優先するか（全体/単一回答）

	WB後 サツ°ル数	実 サツ°ル数	優先度					住宅優 先・計	キャン ペーン・ 消費優 先・計	差分 (住宅優 先・計-キャン ペーン・消 費優先・ 計) (ポイント)
			住宅の検討を優先する	どちらかといえば、住宅の検討を優先する	どちらかといえば、各項目の利用を優先する	各項目の利用を優先する	住宅の検討には影響しない			
GoToトラベルキャンペーンの再開	2,687,452	1,150	19	14	18	10	38	33	28	+5
GoToイートキャンペーンの再開	2,687,452	1,150	20	18	13	7	42	39	20	+19
旅行（国内・海外問わず）	2,687,452	1,150	15	17	19	11	39	32	29	+3
会食・外食する	2,687,452	1,150	13	16	18	9	44	29	27	+2
家族・親戚と会う	2,687,452	1,150	6	14	23	12	45	20	35	-14
友人と会う	2,687,452	1,150	11	14	17	13	46	25	29	-5
ライブ・音楽フェスに行く	2,687,452	1,150	23	15	11	7	44	39	18	+21
アミューズメントパークに行く	2,687,452	1,150	20	16	14	6	44	35	21	+14
スポーツ観戦に行く	2,687,452	1,150	26	16	9	5	43	43	15	+28
ショッピングに行く	2,687,452	1,150	10	14	20	10	45	25	30	-6

※表中の%は、小数点第一位を四捨五入した値  
 ※表中、+は住宅の検討優先、  
 -は各項目の利用・実施優先、を示す

### ■ 「住宅優先・計」と「キャンペーン・消費優先・計」の差（全体）

		WB後 サツ°ル数	実 サツ°ル数	※スコアは差分（住宅優先・計-キャンペーン・消費優先・計）										(ポイント)
		GoToト ラベル キャン ペーン の再開	GoTo イート キャン ペーン の再開	旅行 (国内・ 海外問 わず)	会食・ 外食する	家族・ 親戚と 会う	友人と 会う	ライブ・音 楽フェス に行く	アミューズ メント パークに 行く	スポーツ 観戦に 行く	ショッピ ングに 行く			
全体		2,687,452	1,150	+5	+19	+3	+2	-14	-5	+21	+14	+28	-6	
エリア別	首都圏	1,428,665	177	+1	+19	+6	+5	-13	+2	+22	+18	+26	-4	
	東海	334,934	164	+14	+19	+4	+13	-16	-12	+23	+21	+32	+1	
	関西	699,272	174	+9	+22	-2	-8	-15	-13	+18	+7	+30	-11	
	札幌市	64,124	168	+13	+21	-1	-6	-16	-14	+25	+13	+29	-13	
	仙台市	45,469	157	+9	+9	-3	-3	-17	-10	+17	+9	+23	-6	
	広島市	48,296	149	+1	-0	-12	-12	-28	-18	+21	-1	+19	-7	
	福岡市	66,692	161	+7	+7	-0	-0	-16	-10	+27	+12	+26	-4	
年代別	20代	670,783	241	-3	+11	+10	+0	-25	-17	+16	-3	+28	-15	
	30代	840,683	249	+11	+28	+3	+8	-13	+0	+17	+18	+34	+4	
	40代	582,179	242	+5	+19	-1	-6	-11	-5	+17	+17	+16	-5	
	50代	344,585	221	-2	+8	-8	-6	-9	-1	+35	+21	+28	-11	
	60代	249,222	197	+17	+23	+9	+14	-7	+8	+37	+35	+34	-4	
メイン 検討 種別	注文住宅・計	904,985	379	+17	+34	+6	+12	-9	-4	+18	+18	+29	-4	
	ハウスメーカー	570,393	237	+12	+35	+2	+13	-13	-9	+13	+18	+22	-9	
	工務店	299,041	125	+21	+29	+7	+6	-8	+3	+24	+14	+38	-1	
	条件付き土地	22,682	11	+75	+82	+75	+73	+50	+47	+88	+80	+81	+81	
	新築一戸建て	476,461	153	+6	+12	+9	-2	-26	+4	+33	+26	+42	-2	
	中古一戸建て	335,205	156	-2	+16	+9	-8	-14	-3	+42	+17	+14	+0	
	新築マンション	474,858	213	+2	+10	-0	-6	-11	-10	+16	+7	+29	-21	
中古マンション	413,332	200	-5	+9	-15	-8	-20	-18	-1	-4	+27	-0		

※表中の%は、小数点第一位を四捨五入した値

## SUUMOリサーチセンターについて

SUUMOリサーチセンターは、SUUMOの調査研究機関として、住まいや暮らしについての調査、住まいの品質向上に向けた実証実験、テクノロジーの実態調査を行っています。業界に向けた提言や生活者に向けた発信によって、住まいの価値を高め、ひとりひとりにその価値が届くまでの伴走・支援をしています。リクルート住宅総研としての創立以来、約20年に渡って培ってきた住まいの検討者と不動産事業者に関する深い現場知見と『SUUMO』という国内最大級メディア運営に基づくデータに依拠した、実現できる未来を発信していきます。

## リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>